

トビハゼ

Periophthalmus modestus

スズキ目 ハゼ科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 地域個体群



腹びれが吸盤状に発達した全長約10cmのハゼの仲間。泥質の干潟が広がる河口域や内湾に生息し、発達した左右の胸びれを巧みに使いながら干潟の上をはいずりまわる。動物食性。3～11月の活動期に雄が作った泥の中の巣に雌を導き入れて、産卵する。干拓や埋立て工事により干潟が狭くなり、餌となる小動物の減少により、生息数の減少が懸念される。

(写真：梅津幸雄 文：星野和夫)

県内分布 山国川・駅館川・桂川を中心とした周防灘に注ぐ各河川の河口域、及び八坂川河口域から守江湾周辺

分布域 東京湾～沖縄島
朝鮮半島，中国，台湾